

ピックアップ★

来年度から小学校で 新学習指導要領が全面实施されます

学びの地図とも呼ばれている「学習指導要領」が約10年ぶりに改訂され、小学校では来年度から全面实施されます。小学校におけるこれからの「学びのポイント」について紹介します。

学びのポイント① 主体的・対話的で深い学び

新しい時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育むため、主体的・対話的で深い学びを意識した授業づくりに取り組んでいきます。



主体的・対話的で深い学びを意識した授業とは

- 見通しを持って粘り強く取り組む力が身に付く授業
- 周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業
- 自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業

など

教員用の指導資料

「はばたく群馬の指導プランⅡ」

県教育委員会では、新学習指導要領で求められている授業を実現するための指導資料を作成し、全ての公立小・中学校の教員に配付しました。



新学習指導要領について、詳しく知りたい方は、文部科学省のホームページをご覧ください。



学びのポイント② 外国語（英語）教育の充実

グローバル化に対応するため、小学校段階での外国語教育をさらに充実させていきます。



- 3・4年生で、「聞くこと」「話すこと」を通して英語に慣れ親しむ外国語活動（週1コマ）が始まります。
- 5・6年生では、現在の外国語活動が、「読むこと」「書くこと」を加えた外国語科（週2コマ）になります。
※外国語科は国語や算数のように評価が行われます。

学びのポイント③ プログラミング教育

算数や理科などの授業の中で、プログラミングを体験することにより、論理的に考える力を身に付けます。

また、自分たちの生活が情報技術によって支えられていることに気付けるようになります。



プログラミング体験（南牧村立南牧小学校）

●問い合わせ：義務教育課 027-226-4615

ピックアップ★

障害のある子どもの 意欲と生きる力を培う作業学習

作業学習ってどんなことをするの？

物作りや農作業、サービスなどに取り組むことで、働く意欲を培うとともに、働くための力や生活するための力を育みます。

各特別支援学校ごとに、特色ある授業づくりに取り組み、学習内容の充実を図っています。



作業学習で鹿革製品を製作（県立高崎特別支援学校）

子どもたちの学習の成果をぜひご覧いただき、

子どもたちへお褒めの言葉をお願いします

特別支援学校では、生徒が製作した製品を各学校の文化祭やイベントなどで販売・配布しています。

見掛けた際には、ぜひとも製品をご覧いただき、子どもたちとの会話もお楽しみください。このような経験が、子どもたちの自信とやる気につながります。



特別支援学校では、「作業学習」に取り組んでいます。多くの人に取り組みを知っていただき、後押しをしていただくことが、子どもたちの成長の助けになります。

自慢の製品をイベントで販売・配布



販売体験（県立高崎特別支援学校）

スマーク伊勢崎で行われた「ぐんまグッジョブフェア」にて、作業学習で製作した製品を販売しました。

今号の「読者プレゼント」では、この日販売していた鹿革ペンケースをプレゼント！
詳しくは8ページをご覧ください。

「北関東総体2020カウントダウンイベント」を盛り上げるため、来場者に「手作り記念品」の配布を行いました。



来場者へ笑顔で手渡し（県立高崎特別支援学校）



配布した「手作り記念品」の一部

●問い合わせ：特別支援教育課 027-226-4656